

サービスがサポートされていないために発生するPDPコンテキスト拒否の更新のトラブルシューティング：原因コード200

内容

[はじめに](#)

[問題](#)

[症状](#)

[問題の詳細と解決策](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Gateway General Packet Radio Service(GPRS)Support Node(GGSN)がService Not Supportedの原因でUpdate Packet Data Protocol(PDP)コンテキスト要求メッセージを拒否する理由について説明します。

問題

ネゴシエートされたBearer Control Mode(BCM)がMixed(User Equipment(UE)+Network(NW))に設定されていて、UEが既存のTraffic Flow Template(TFT)パケットフィルタなしで特定のQoS値をアップグレードしようとする、GGSNによってUpdate PDP Context Request (PDPコンテキスト更新要求) が拒否されます。

症状

1. 原因コード200 Service Not SupportedのGGSN rejection of Update PDP Context Request messages。
2. このような問題がGGSNで発生すると、Syslogメッセージが出力されます。

[sessmgr 12861 error] [3/0/7812

smgr_fsm_func.c:9995] [callid 31d6dc65] [software internal system syslog] UPC Rejected for ctxt

問題の詳細と解決策

StarOSリリース18から、新しい条件が追加され、既存のPDPコンテキストにTFTが存在することが保証されるようになりました。このTFTには、GGSNによってMSが既存のコンテキストのQoSを変更できるようになる前に、Mobile Station(MS)によって設定されたパケットフィルタが存在します。詳細については、[CSCut09653](#)を参照してください。

この条件は、3GPP 23.060セクション9.2に従って追加されます。このセクションには次のように記載されています。

MSは、PDPコンテキストがMSにより設定されたパケットフィルタを含むTFTに関連付けられるまで、そのPDPコンテキストのQoSを変更してはならない。TFTにP GW/GGSNによって設定されたパケットフィルタも含まれている場合、MSは、そのPDPコンテキストのQoSプロファイルのビットレートパラメータの変更のみを許可されます。

このGGSNの変更により、PDPコンテキストの更新要求が成功するためには、次のいずれかのアクションを実行できます。

1. BCMがMixedに設定されている場合、汎用PDPコンテキストに対してUE initiated Update PDP Context(UPC)でTFTを送信すること。
2. UEからTFTを送信できない場合は、BCMをMixedにネゴシエートせず、UE-OnlyのBCMを使用すること。BCMはUE、SGSN、GGSN、およびPCRF間でネゴシエートされるため、ネゴシエートされたBCM値がUE-Onlyになるように、これらのネットワーク要素のいずれかによってBCMをUE-Onlyに設定できます。
3. StarOSを[CSCvc21496](#)の動作変更を含む最新リリースにアップグレードし、StarOS設定を更新してQoSの変更を許可します。追加の設定により、StarOSでは、MSごとに設定された既存のTFTがない場合に、QoSのダウングレードが可能になりました。この動作は仕様に反していますが、GGSNサービスで設定を有効にすることができます。

<#root>

```
config
context PGW
ggsn-service GGSN_SVC
```

```
gtpc support-access-side traffic-class downgrade
```

```
end
```

関連情報

- この動作変更と設定オプションの詳細については、『[リリース変更リファレンス、StarOSリリース19](#)』の「MS to Change QoS Parameters」の項を参照してください。

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。